

NU FORCE

**AVP-18**



## 目次

- I. はじめに
- II. 付属品
- III. 特長
- IV. 前面パネル
- V. 背面パネル
- VI. リモコン
- VII. スピーカーの配置
- VIII. 入出力装置との接続
- IX. スペック

## はじめに

NuForce の AVP-18 オールデジタル・ホームシアタープリアンプ/プロセッサは、熱心な AV エンスージアストに本物の 24/192 のデジタルオーディオ・パフォーマンスと HD ビデオの素晴らしい再生を驚くべき価格で提供します。4 系統の HDMI 入力、2 系統のオプティカル(光)入力、2 系統の同軸 S/PDIF 入力により、AVP-18 は多くの複雑なシステム構成を簡単にまとめあげます。

### ●対応しているデジタルオーディオフォーマット

PCM オーディオ 44.1kHz - 192kHz

DTS-HD マスターオーディオ

DTS Neo:6

Dolby TrueHD

Dolby Pro Logic lix

Dolby Pro Logic liz

最も純粹であるべきデジタル／アナログ転換(DAC)を最適化するために、AVP-18 はデジタルソースのみを受け入れることにしました。DAC とそれ以降のアナログ回路は NuForce のハイエンドシリーズで採用されているいくつかの革新的なテクノロジーを搭載しています。さらに AVP-18 は高精度の 8 チャンネルアナログボリュームコントロールと高品質の RCA 出力コネクタ、オーディオファイルクラスのアナログ回路を全体的に採用しており、これらはすべて AVP-18 のピュアで明快なサウンドに貢献しています。

多くのプロセッサとは異なり、HDMI 入力を AVP-18 で切り替えることは滑らか且つ正確です。HDMI 出力と全ての 4 系統の HDMI 入力が 3-D、CEC、そして SRC サポートの HDMI1.4 に準拠しています。柔軟性については、AVP-18 はほとんどのテレビからの ARC (Audio Return Channel) 入力を受け付けます。実際、AVP-18 はここには書き切れないほど機能満載です。最初のセットアップをビギナーも簡単に進められると同時に、AVP-18 は要求度の高いオーディオファイルが最も高レベルかつ高精度のパフォーマンスをカスタマイズするのに必要なコントロール機能を提供します。はじめにデジタルソースを接続し、付属のキャリブレーションマイクを繋ぎ、オートマルチチャンネルルーム補正ソフトウェアを起動することで、多くの部屋に特有である音響上のピークディップを調整します。これら全てのセッティングはメモリに格納されるため、最新の HD オーディオやビデオメディアを NuForce らしい正確性、透明度、そして音楽的サウンドでお楽しみいただけます。

AVP-18 の自動キャリブレーションルーチンが単純で直接的なのと同時に、厳粛なオーディオファイルは下記を含む高度で豊富なキャリブレーションオプションによる完璧な調整を追求することもできます。

- フォーマットごと(6種類)の低域設定
- 1 チャンネルにつき 11 項目のプログラミング可能かつ完全にパラメータ化されたイコライザー
- スピーカークロスオーバーポイント、スロープ、そしてアラインメントタイプの調整

システムの基礎に AVP-18 があれば、最高のオーディオファイル級ホームシアターシステムを作り上げる理想的な土台となることでしょう。

## 付属品

- 電源ケーブル x 1
- 3p-2p AC 変換プラグ x 1
- AVP-18 リモコンユニット x 1
- 単4電池 x 2
- 音場調整用マイク x 1
- 本取扱説明書 x 1

## 特長

- フル HDMI 1.4 対応(3D 対応、4K 非対応) 2013/7/3 現在
- 最新の HD オーディオデコーディング: Dolby TrueHD、Dolby Digital Plus、DTS Master、DTS Hi Res 等
- Dolby Digital (EX)、DTS、DTS ES (D6.1, M6.1)、DTS 96/24 又は 192K 7.1CH PCM との互換性を持つ HD オーディオデコーディング
- Dolby Pro Logic、DTS Neo:6 等のマトリックスデコーディング機能
- インテリジェントルームアコースティック分析
- 自動又は手動ルーム音響/スピーカーイコライゼーションオプション
- フロント、センター、サラウンド、そしてリアスピーカーの個々の調整に対応した強力な四段低域管理
- フロントバイアンプのためのスロープが選択可能なデジタルクロスオーバーフィルター
- アナログ回路はオーディオグレードのコンデンサを大量に採用、各 ch には NuForce ハイエンドシリーズに採用されるオーディオグレードのオペアンプを使用
- 1チャンネル辺り 11 項目調整可能な完全にパラメータ化されたイコライザー
- 高速切替え技術を採用した4系統の HDMI 入力と1系統の HDMI 出力
- HDMI 1080P、YUV、RGB、DVI、HD オーディオ、そして 8CH LPCM 対応
- 3D ビデオ再生に対応
- HDMI CEC コントロール
- HDMI ARC (オーディオリターン)
- ビデオ入力機能: HDMI/DVI、480P、576P、720P50、720P60、1080i 50、1080i 60、1080P 50、1080P 60、1080P 24

前面パネル



1. 左側ノブ

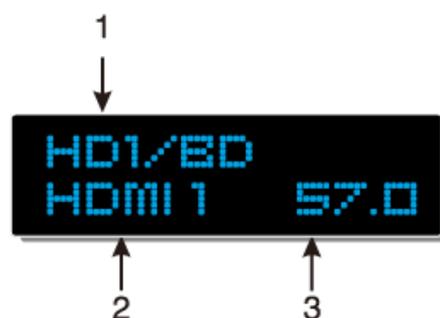
- A. 入力を選択
- B. 押しながら操作することでオンスクリーンメニューの項目を選択

2. オンスクリーンメニュー

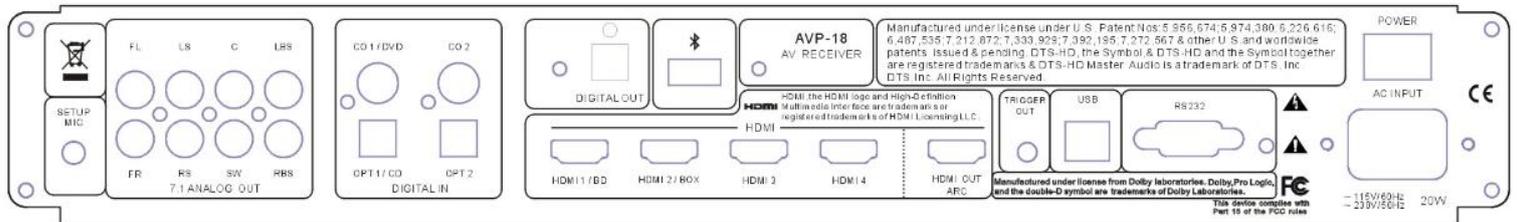
- A. 映像入力のソース名表示
- B. 音声入力のソース名を表示
- C. 現在の音量を表示 (00.0 - 80.0 dB)

3. 右側ノブ

- A. 音量の調整
- B. オンスクリーンメニューのオプションを選択
- C. 長押しで電源の ON/OFF を行う



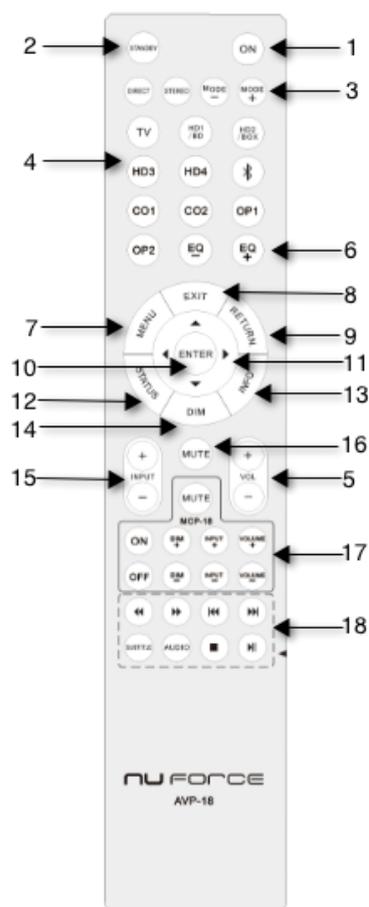
背面パネル



- Setup Mic - 付属の音声調整用マイクのプラグを接続する。
- 7.1 Analog Output - 各 ch 用のパワーアンプへ対応する端子から接続する。
  - FL - front left
  - FR - front right
  - LS - Left surround
  - RS - Right surround
  - C - Center
  - SW - Subwoofer
  - LBS - left front height (初期設定は Left back surround)
  - RBS - right front height (初期設定は Right back surround)
- Digital In - 対応するデジタルソースを接続する。
  - CO1 - 同軸デジタル入力 # 1
  - CO2 - 同軸デジタル入力 # 2
  - Opt1/CO - 光 TOS 入力 # 1
  - Opt2 - 光 TOS 入力 # 2
- HDMI - 入出力(4 入力/1 出力)
  - HDMI input # 1
  - HDMI input # 2
  - HDMI input # 3
  - HDMI input # 4
  - HDMI output / ARC
- Trigger Out - トリガー出力(DC 12V/120 mA トリガー接続可能な他の装置との接続に使用)
- Digital out - 入力されたデジタル信号をパススルーして出力する
- USB - USB 入力。PC と接続してファームウェアアップデートを行うときに使用。
- RS-232 - シリアルポート
- Power - 主電源スイッチ
- AC INPUT - 付属電源ケーブルを接続する

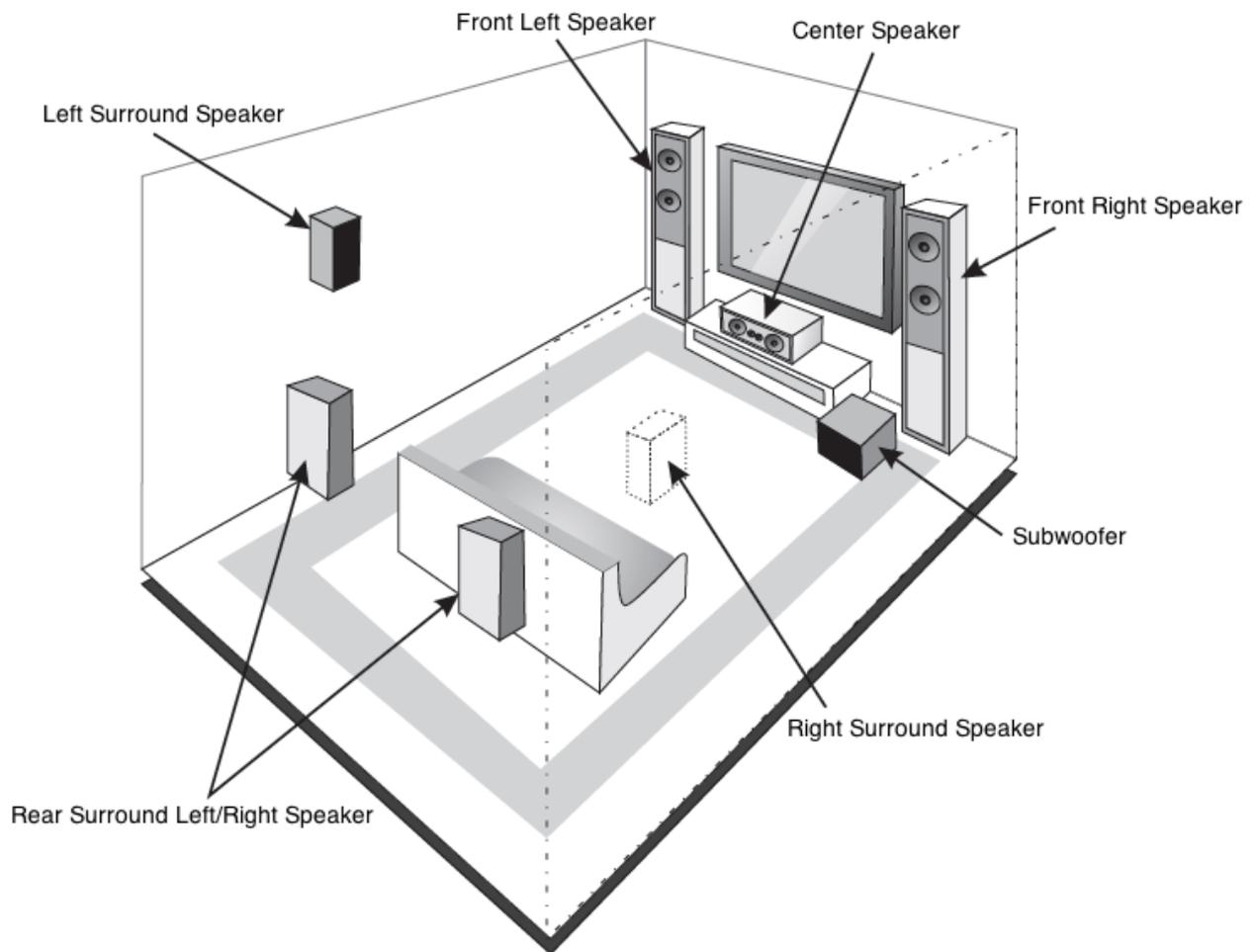
リモコン

1. On - 電源 ON
2. Standby - スタンバイ
3. 聴取モード - 下記の聴取モードを順に切り替える
  - ① Stereo - 2ch ステレオモード
  - ② Direct - 入力信号を最小限の補正で再生する
  - ③ DSP - 様々に設定したモードで再生する
  - ④ Dolby Pro Logic IIX - 2ch 入力の信号を 7. 1 ch に拡張して再生する。音楽/映画の 2 種類のモードがある。
  - ⑤ Dolby Digital - Dolby Digital 収録されたソースをそのまま再生する。
  - ⑥ Dolby EX - 5. 1 Ch ソースを 6. 1ch に拡張して再生する。
  - ⑦ Dolby Digital Plus - HDTV に使用されている。7. 1Ch/48kHz で再生可能。
  - ⑧ Doly TrueHD - ブルーレイ DISC や HD DVD 等に使用されている。7. 1 Ch/ 48kHz か 96 kHz。もしくは 5. 1 Ch/192 kHz で再生可能。
  - ⑨ Neo 6 - 2ch 入力の信号を 7. 1 ch に拡張して再生する。7 種類の違ったエンコーディングが可能。
  - ⑩ DTS - DTS 収録されたソースをそのまま再生する
  - ⑪ DTS-ES - DTS-ES 収録されたソースをそのまま再生する
  - ⑫ DTS-Master - ブルーレイ DISC や HD DVD 等に使用されている。7. 1 Ch/ 48kHz か 96 kHz。もしくは 5. 1 Ch/192 kHz で再生可能。
  - ⑬ DIS Hi Res - HDTV に使用されている。7. 1Ch/96kHz で再生可能。



4. Input selections - 入力選択
5. Volume adjustment - 音量調整
6. EQ mode - プリセットした EQ セッティングを呼び出す
7. Menu button - オンスクリーンメニューを表示する
8. Exit button - オンスクリーンメニューから抜ける
9. Return button - オンスクリーンメニューで前の項目に戻る
10. Enter button - オンスクリーンメニューで項目を選択する
11. Arrow keys - オンスクリーンメニューで項目を移動する
12. Status - 現在の入力やリスニングモードを表示する
13. Info - 現在の入力ソースのフォーマット等を表示する
14. Dim - AVP-18 の本体表示の明るさを調整する
15. Input +/- - 入力ソースを切り替える
16. Mute button - 音量を一時的に絞る
17. Remote function for MCP-18 - MCP-18 用のボタン
18. DVD/BD player control - ARC 接続した DVD/BD プレーヤーの操作キー

スピーカーの配置



## 入出力装置との接続

接続する際には端子に適合したケーブルを用いて、接続する装置の電源を切った状態で行なってください。

- TOS 端子には未接続時に自動で閉鎖するカバーがついていますので、接続の際はそのまま端子を押し込んでください。
- RCA 端子の接続時には、プラグを回転させずにまっすぐに押しこむ、引きぬくようにしてください。
- HDMI 端子の接続時にはプラグを最後まできちんと押し込んでください。中途半端な状態だと映像・音声が出ない場合があります。

## 自動音場調整のセットアップ:

AVP-18は付属のテスト用マイクを用いてインテリジェントな音場の自動調整が可能です。これによって部屋の固有の音響、各スピーカーの配置を加味した上での最適な音場補正を行うことができます。このシステムはEQを自動的にセットすることも可能です。11ポイントのイコライザーはオクターブ毎のバランスを保つことが可能です。この機能を使用する前に全てのスピーカーが接続されていることを確認してください。

## テスト用マイクの接続:

- マイクのプラグを背面の **SETUP MIC** 端子に接続してから、マイク本体をリスニングポジションにおけるリスナーの両耳の中央あたりにセットしてください。マイクは集音部が上を向くように設置し、調整中は手を触れることがないようにしてください。
- リモコンでオンスクリーンメニューを呼び出します。
- **Auto Room EQ** を選択します。
- 画面の指示に従って作業を進めてください。

**スペック**

対応サンプリング:	44.1kHz,48kHz,88.1kHz,96kHz,176.4kHz,192kHz / 16bit,24bit
入力端子:	HDMI×4 系統、SPDIF(光)×2 系統、TOSLINK Optical×2 系統
出力端子:	RCA×8 系統、HDMI×1 系統、TOSLINK×1 系統
再生周波数帯域:	20Hz - 20kHz
全高調波歪率:	0.05%
定格電力:	スタンバイ時(LED オフ):0.55W アイドリング時:9.78W 再生時:10.01W
出力インピーダンス:	100Ω
AC フューズ:	5A スローブロー/250VAC
動作電圧:	100V/110V/220V/232V AC
サイズ:	H80 × W430 × D340 (mm) *端子、脚含む
重量 :	4.6kg
カラー:	ブラック
付属品:	電源ケーブル、リモコン、音場調整用マイク、2P→3P 変換アダプタ